

## 基本事項

**目的** 自転車活用推進法の施行（2017.5）、自転車活用推進計画（国）の閣議決定（2018.6）を受け、宮城県の実情に応じた自転車の活用推進に関する施策の方向性を定めるものです。

**区域** 宮城県全域とします。

**期間** 次期総合計画との整合性を勘案し、2020～2030年度（11年間）とします。概ね5年後の中期時点でフォローアップを実施します。

## 宮城県版自転車活用推進計画（素案）

将来の宮城県のあるべき姿や目標について、自転車の活用により実現する将来像を、自転車の特性に応じて4つの分野に整理しました。この将来像の実現に向けて、宮城県特有の自転車に関する問題・課題に対し、講すべき施策目標を以下の通り設定します。

## 宮城県をとりまく現状・課題

誰もが暮らしやすく、環境に優しいまちづくり

- ・東日本大震災発生後、多くの被災市町で人口減少が進行
- ・少子高齢化の進展
- ・仙台市周辺では慢性的な交通渋滞により温室効果ガスの排気量増加が予測

まちづくり

健康増進

観光振興

安全・安心

ライフステージに応じた運動習慣の改善

- ・メタボリックシンドローム該当者及び予備群と診断された人が、8年連続で全国3位以上
- ・幼稚園から高校まですべての学年で肥満率が全国平均以上
- ・日常的にスポーツを行っていない人の割合が増加傾向

インバウンド需要の増加を契機とした交流人口の拡大

- ・沿岸部への観光入込客数では震災前の約9割以上にまで回復
- ・宮城県外国人観光客宿泊数は、4年連続で過去最高
- ・東北地方への外国人宿泊者数は増加しているものの、全国での割合は1.5%に留まる

平常時・災害時の安心・安全な移動環境の実現

- ・宮城県内の自転車事故発生件数は減少傾向にあるが、依然死亡事故が発生
- ・死傷者の半数近くに違反が見られ、ヘルメットの着用率は低調
- ・地震、豪雨、台風など、自然災害の甚大化

## 宮城県特有の自転車に関する問題・課題

安全に利用できる自転車通行空間の確保が必要

- ・県内各地のまちづくりにおいて、利便性の高い交通手段である自転車の利活用が不十分
- ・歩行者、自転車、自動車交通が混在する道路が多い
- ・鉄道駅やバス停周辺において、駐輪スペースの容量不足

自転車を活用した健康増進へのきっかけづくりが必要

- ・県内の自転車分担率が低い
- ・自転車を利用した健康づくりへの関心を高めるための啓蒙活動が必要

国内外からの来訪者が魅力的に感じる自転車支援策が必要

- ・サイクリストの受入環境や走行環境の整備が必要
- ・県内各地の自転車を活用したイベント、各市町村のレンタサイクルにおいて、地域間での連携が必要
- ・魅力あるモデルルートの設定や自転車ネットワーク環境の整備が必要

自転車利用者の安全意識の醸成が必要

- ・自転車通行方法の遵守、ながら運転や無灯火運転の禁止など交通ルール・マナーを守る意識の向上が必要
- ・自転車の安全教育の推進、保険加入やヘルメット着用の割合の向上が必要
- ・災害時における自転車活用の意識向上が必要

## 目標1

自転車の利用拡大による良好な地域環境の形成

## 目標2

サイクルスポーツの振興による健康長寿社会の実現

## 目標3

サイクルツーリズムの推進による観光立県の実現

## 目標4

安全で快適な自転車利用環境の実現

## 主な施策

### 目標 1：自転車の利用拡大による良好な地域環境の形成

- 地域の実情に合わせた自転車走行空間の整備
- 地域のニーズに応じた鉄道駅等における駐輪場の整備促進
- シェアサイクル・レンタサイクルの普及促進に向けた広報の支援



▲一般県道仙台亘理自転車道線



▲シェアサイクルの利用状況（仙台市）

### 目標 2：サイクルスポーツの振興による健康長寿社会の実現

- 子供から高齢者を対象とした健康増進につながる啓蒙活動やイベントなどの実施
- 自転車通勤や企業における業務利用拡大などの広報啓発
- 自転車道やスポーツ施設などの効果的な活用



▲自転車競技の体験イベント  
出典) みやぎ「夢・復興」ジュニア  
スポーツパワーアップ事業HP



▲川崎町サイクリングガイド  
出典) 川崎町観光ポータルサイト

### 目標 3：サイクルツーリズムの推進による観光立県の実現

- (仮)震災復興・伝承みやぎルートなどのモデルルートを基軸とした魅力ある自転車ネットワーク環境の整備
- 空港や道の駅等の主要な交通拠点における受入サービスの充実化
- 國際的なサイクリング大会の誘致、開催支援



▲「ツール・ド・東北」開催状況



▲自転車専用ロッカー（仙台空港）

### 目標 4：安全で快適な自転車利用環境の実現

- 交通安全の意識向上を図るための広報啓発や、交通安全教室の開催
- 賠償責任保険への加入の促進
- 災害時における正しい自転車活用方針の検討



▲仙台市自転車マナーアップキャンペーン



▲条例周知用チラシ 出典) 仙台市HP

## 宮城県の自転車ネットワークの考え方（案）

### 基本方針

- 市町村を跨ぐ日常移動の支援
- 国内外に発信できる、日本を代表するサイクルルートの設定
- 隣接県や複数市町村を跨ぐ県民が楽しめるサイクリングの推進
- 安全で快適に利用できる自転車ネットワークの構築

広域のサイクリングを対象としたネットワーク

市町村を跨ぐ日常移動を対象としたネットワーク

### 選定の考え方

**広域のサイクリングを対象としたネットワーク**では、県民や、国内外からの来訪者の観光における自転車利用の促進や利便性向上を図るために、以下の考え方でネットワークを選定する。

- 空港・新幹線駅などの主要な交通結節点と観光拠点の連携
- 広く普及しているサイクリングルートの連携
- 隣接県との交流促進への期待

**市町村を跨ぐ日常利用を対象としたネットワーク**では、主に通勤・通学など移動距離の長い日常移動需要が多い路線について、走行の快適性及び安全性の向上を図る。また、地域ごとに策定される市町村の自転車ネットワーク計画について、幹線道路によりそれぞれのネットワークを繋ぎ、広域的な連携を図る。

- 自転車による通勤・通学流動が多い市町村間を結ぶ路線
- 自転車ネットワーク計画を策定済みの市町村間を結ぶ路線

### 考え方の素案



# 計画策定に向けた今後のスケジュール

資料 3

項 目	令和元年		令和2年	
	12月	1月	2月	3月
webアンケート調査		---		
施策の検討	---	---		
指標の検討		---		
「宮城県版自転車活用推進計画」（案）のとりまとめ	---	---		
パブリックコメントの実施			---	
「宮城県版自転車活用推進計画」の策定				---

第2回宮城サイクルツーリズム推進協議会

第3回宮城サイクルツーリズム推進協議会（予定）